



ふくしまの子どもを守る緊急プロジェクト事業概要

総額358億円

1 学校の安全安心を守る(108億円)

校庭等土壌緊急改良事業(67億円)

校庭、園庭の放射線量低減のため公立学校等が表土改善を行う場合に、補助する事業。

線量低減化機器等整備事業(1億円)

放射線量低減のため、公立学校等が校舎等の洗浄を行う機器等(高圧洗浄機、泥落としマット)を設置する場合に、補助する事業。

校内環境緊急改善事業(40億円)

公立学校等がエアコン、扇風機等を設置する場合に、補助する事業。

対 象 : 公立学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)
私立学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等課程を有する専修学校)
保育所、認可外保育施設、子育て支援のための拠点施設、児童館
児童養護施設、児童厚生施設
障害児施設、児童ディサービス事業所

2 暮らしの安全安心を守る(105億円)

モニタリングポスト緊急整備事業(58億円)

発電所周辺及び県内全域に可搬型モニタリングポストを、学校、保育施設、公園等に小型のオンライン線量計を配置し、全県域の空間線量を自動的に計測して、マップ上にわかりやすく公開する事業。

線量低減化活動支援事業(36億円)

通学路、側溝、公園などの子どもの生活空間における清掃、草刈りなど放射線量の低減化を図る活動を行う団体等に対して補助する事業。

対 象 : 町内会、PTA、ボランティア団体等及び市町村

都市公園環境緊急改良事業(11億円)

県営公園の空間線量率が毎時1マイクロシーベルト以上の場所の表土の除去等を実施。
また、市町村営公園等の空間線量率が毎時1マイクロシーベルト以上の場所の表土の除去等を行う場合に、補助する事業。

3 子どもの健康を守る(115億円)

線量計等緊急整備支援事業(60億円)

市町村が子ども及び妊婦を対象に個人線量計(ガラスバッジ等)を配布する場合及び保護者などの住民の用に供するサーベイメーターを整備する場合に補助する事業。

ホールボディカウンター整備事業(16億円)

原子力災害に伴う県民の不安解消と健康管理に関する安全・安心を確保するため、県民を対象に内部被ばく検査を実施するとともに、内部被ばく量を測定するホールボディカウンター5基を整備。

県民健康管理事業(39億円)

放射能汚染に対する県民の安全・安心を確保するため、全県民を対象にアンケート方式による基本調査及び国の避難指示等の住民を対象に詳細調査を実施。

4 子どもの元気を守る(30億円)

ふくしまっ子夏の体験活動応援事業(30億円)

震災により子どもたちの活動環境が制限されている中で、夏休み等に、心身ともにリラックスできる事業を実施。

○夏の体験活動応援補助事業

体験活動等を実施する市町村や団体に対して宿泊費・交通費等を補助する事業。

○自然の家体験活動応援事業

親子による宿泊及び日帰りの自然体験や創作活動等を会津自然の家において実施。